

各位

株式会社富山第一銀行

株式会社富山陽成社との  
「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結

株式会社富山第一銀行（頭取 野村 充）は、株式会社富山陽成社（代表取締役 島津 弘明）を評価対象とした「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

本サービスを通じて、取引先の企業活動における環境・社会・経済の3つの側面に対して、インパクトを包括的に特定・分析し、ポジティブインパクトが期待できる活動と、ネガティブインパクトを緩和する活動を支援いたします。

今後も、お客さまに「寄り添う」銀行として、持続可能な社会の実現に向けた企業活動を通じた SDGs の達成に寄与することで、さらなる信認につなげます。

## 記

## 1. 商品概要

本商品は、企業活動が経済・環境・社会に与えるポジティブ並びにネガティブな影響をポジティブインパクト金融原則に基づき特定し、ポジティブインパクト（プラスの影響）を拡大、ネガティブインパクト（マイナスの影響）を緩和することで SDGs 達成を目指すファイナンスの取り組みです。当行は、インパクトに対する企業活動の影響・取り組みを包括的に分析・評価を行います。これらのインパクトに対する KPI（重要業績評価指標）についてお客さまとともに設定し、達成状況や取り組み状況について、定期的にモニタリングし、達成に向けて支援を行ってまいります。客観性を保つため当行が実施した評価について株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得しています。

## 2. 融資概要

契約締結日	2025年3月31日
借入人	株式会社富山陽成社
資金使途	運転資金
モニタリング期間	5年

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記 URL をご参照ください。  
<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

## 3. 評価企業概要 株式会社富山陽成社

代表者	代表取締役 島津 弘明
本社所在地	富山県富山市三郷 36 番地
事業内容	商品パッケージ・紙製食品容器の製造・販売
設立年月	1959年8月

## 4. SDGs 達成に向けた取組事例（詳細は評価書をご参照ください）

取組内容	「プラから紙へ」を促進し社会に貢献
インパクトの種類	経済面のポジティブインパクトの拡大 環境面のポジティブインパクトの拡大
インパクト・カテゴリ	「包括的で健全な経済」 「生物多様性と生態系サービス」
関連SDGs	  
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙製食品容器の供給拡大による脱プラスチックの促進</li> <li>森林の持続可能性に配慮した製品づくりの促進</li> </ul>
毎年モニタリングする目標とKPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>2030年2月期まで毎期、紙製食品容器の製造を担う食品一般パッケージ部門の売上を前期比3%ずつ増加(2025年2月期：1,435百万円)</li> <li>2028年2月期までにFSSC22000（食品安全システム）認証を取得</li> <li>FSC®CoC認証(※)の維持 ※FM(森林管理)認証された森林から算出された林産物の適切な加工・流通に対する認証</li> </ul>



株式会社富山第一銀行  
ニューセンター支店支店長 砂原 学

株式会社富山陽成社  
代表取締役 島津 弘明氏

【本件に関する問い合わせ先】

法人事業部：成田  
TEL 076-461-3871

# ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書

評価対象企業：株式会社富山陽成社



2025年3月31日

株式会社富山第一銀行

# 目次

1. はじめに. . . . .	2
2. 会社概要. . . . .	3
(1) 企業概要	
(2) 企業理念・スローガン	
(3) 沿革	
(4) 組織図	
(5) バリューチェーン	
(6) セグメント情報	
3. 事業内容. . . . .	7
(1) セグメント概要	
(2) 加工技術	
(3) 完全一貫生産システム	
(4) 生産設備	
(5) 品質への取り組み	
4. SDGs・ESG 活動. . . . .	13
(1) 職場環境	
(2) SDGs 宣言	
5. インパクトの特定. . . . .	16
(1) インパクトレーダーによるマッピング	
(2) インパクトカテゴリーに対応する SDG s	
(3) 日本におけるインパクトニーズの確認	
(4) 富山県の政策・戦略の確認 ～とやま未来創生戦略の確認～	
(5) インパクトの特定	
(6) 特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認	
6. KPI の設定. . . . .	21
7. 管理体制とモニタリング . . . . .	24

# 1. はじめに

富山第一銀行は、株式会社富山陽成社に対してポジティブ・インパクト・ファイナンスを実施するにあたって、同社の企業活動が、環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響及びネガティブな影響）を分析・評価した。

分析・評価にあたっては、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」及び ESG 金融ハイレベル・パネル設置要領第 2 項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的な考え方」に則った上で、株式会社富山陽成社の企業活動における包括的なインパクトを分析した。

富山第一銀行は、本評価書で特定されたポジティブ・インパクトの拡大とネガティブ・インパクトの抑制に向けた取り組みを支援するため、株式会社富山陽成社に対し、ポジティブ・インパクト・ファイナンスを実行する。

資金調達者の名称	株式会社富山陽成社
所在地	富山県富山市三郷 36 番地
従業員数	134 名
事業内容	商品パッケージ・紙製食品容器の製造・販売
調達形態	証書貸付
契約期間（モニタリング期間）	2025 年 3 月 31 日から 5 年間
資金使途	運転資金

## 2. 会社概要

### (1) 企業概要

社名	株式会社富山陽成社
代表者	代表取締役 島津 弘明
所在地	富山県富山市三郷 36 番地
事業内容	<p>【商品パッケージ・紙製食品容器の製造・販売】</p> <p>■食品一般パッケージ部門</p> <p>・昨今ではプラスチックに変わる素材として、環境に優しいリサイクル可能な紙容器が注目を浴びている。美味しく演出するだけでなく、使う方々の使いやすさにも視点を置き、リサイクルしやすい容器構造にも力を注いでいる。（コンビニ紙容器、弁当容器、HD（足付）弁当容器、レンジ対応容器…他）</p> <p>■医薬品部門</p> <p>・各商品の品質特性に配慮しパッケージを制作。ご使用になる方に安心、安全に利用していただける優れた製品を目指している。</p> <p>■工業製品部門</p> <p>・主に工具や部品を包装するパッケージにて構成。商品を保護するだけでなく、四角箱から円型、内容物に配慮した変形箱まで、大きさ、形態、デザインなど、要望に応じて魅力的に設計することができる。</p>
創業年月	1959 年 4 月
設立年月	1959 年 8 月
資本金	91 百万円（2025 年 2 月期）
売上高	2,123 百万円（2025 年 2 月期）
従業員	134 名（2025 年 2 月現在）
認証	・ ISO9001 認証 ・ FSC®CoC 認証
取引先	・ 印刷会社 ・ 食品会社 ・ 医薬品会社 ・ 製造会社
関連会社	株式会社協和パック(富山陽成社グループ：100%子会社)

## 企業理念

### PHILOSOPHY

私たちは、紙の包装容器に特化し、世の中の変化に敏速に対応し、顧客に感動を与え、安全で安心して使って頂けるものづくりを行い、社会に貢献する。

## スローガン

### SLOGAN

#### **C**HANGE

スピードと柔軟性をもって変化に対応する

#### **C**HALLENGE

自己研鑽と物事の本質を見る力を養う

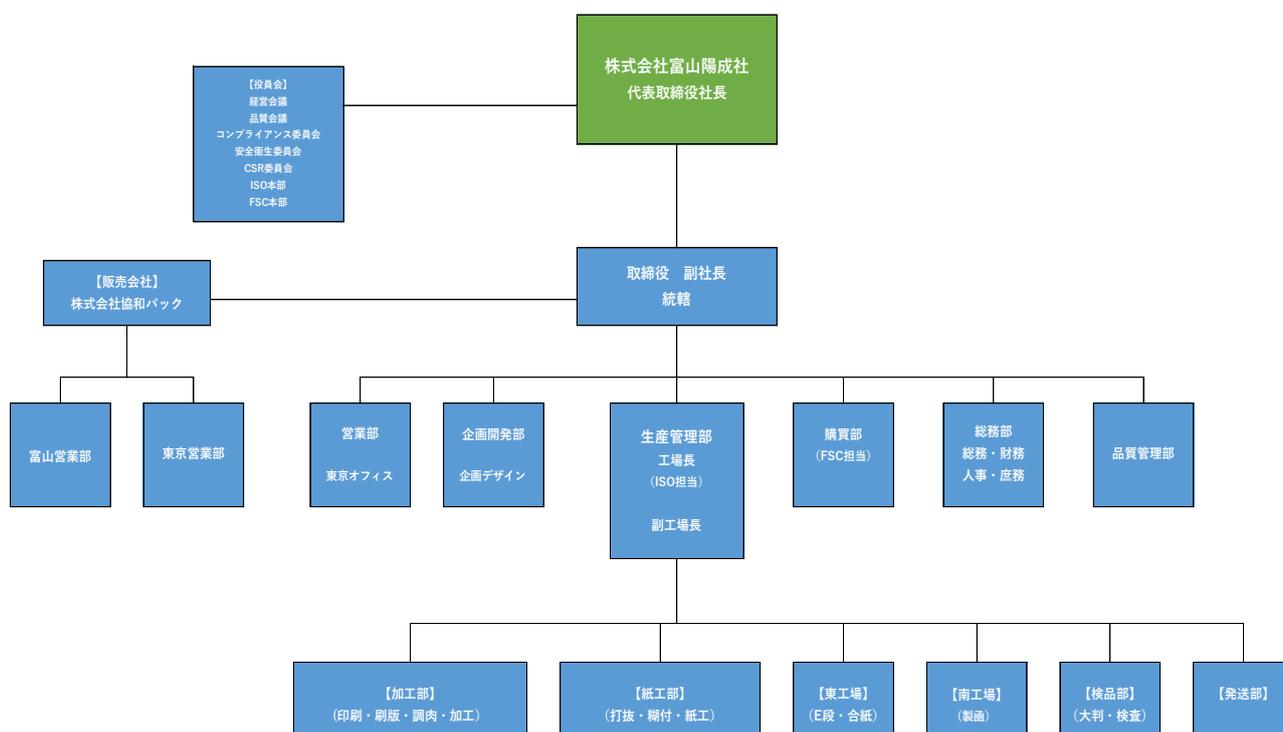
#### **C**OMMUNICATION

対話と協調から人と人とのつながりを深める

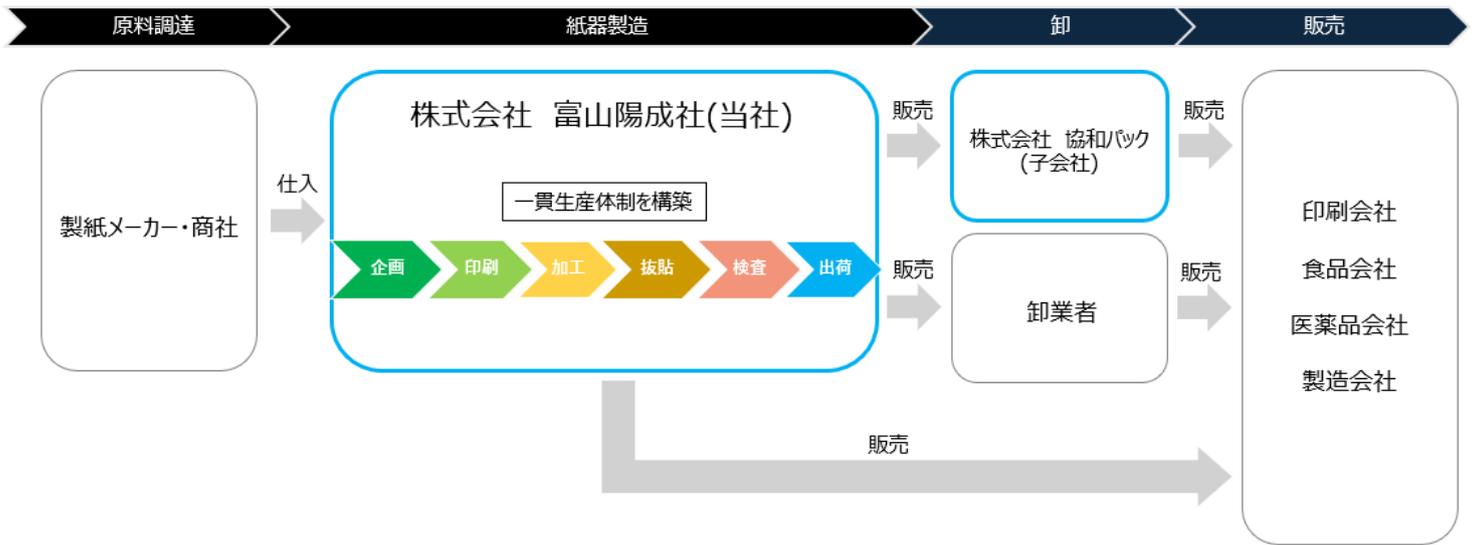
### (3) 沿革

1959年4月	富山市西新庄100番地にて、印刷部の光沢加工業者として島津清勇が個人創業
1959年8月	同地にて株式会社富山陽成社を設立
1977年12月	富山企業団地協同組合内に工場を新設し、旧工場より全面移転。同時に、印刷部門を開設
1993年3月	経営の合理化、技術の向上に効果を上げた優良企業として中小企業庁より長官表彰を受ける
1995年4月	富山県中小企業合理化モデル工場指定
2000年9月	中小企業経営革新支援法の認定を富山県より受ける
2014年8月	株式会社協和パックを、100%出資の販売子会社とする
2016年10月	ISO9001 認証取得(2015年度版)
2018年7月	FSC®森林認証/CoC 認証を取得
2019年8月	創立60周年を迎える
2024年6月	健康企業宣言富山推進協議会より、「銀の認定証」を取得
2024年8月	創立65周年を迎える

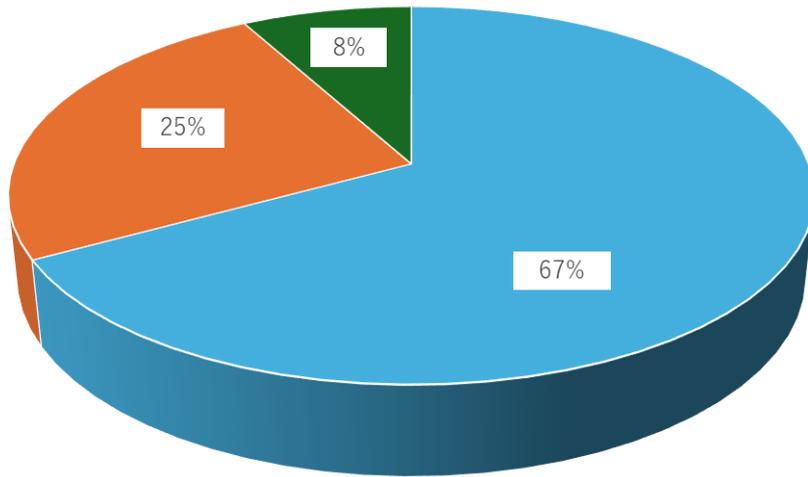
### (4) 組織図



## (5) バリューチェーン



## (6) セグメント情報



■ 食品一般パッケージ部門 ■ 医薬品部門 ■ 工業製品部門

セグメント	割合
食品一般パッケージ部門	67%
医薬品部門	25%
工業製品部門	8%

### 3. 事業内容

当社は全国のメーカーや商社、印刷会社、販売会社、ディーラー等を中心に、各種商品パッケージ・紙製食品容器の製造・販売を行っている。取扱商品は食品一般パッケージ、医薬品、工業製品のパッケージに大別される。最新鋭の多種多様な設備を導入した一貫生産システムを構築しており、高品質・短納期・低コストでの製造が可能。

#### (1) セグメント概要

##### 食品一般パッケージ部門

昨今ではプラスチックに変わる素材として、環境に優しいリサイクル可能な紙容器が注目を浴びている。美味しく演出するだけでなく、使う方々の使いやすさにも視点を置き、リサイクルしやすい容器構造にも力を注いでいる。（コンビニ紙容器、弁当容器、HD（足付）弁当容器、レンジ対応容器…他）



## 医薬品部門

医療品・化粧品容器は、医薬品・化粧品・医薬部外品等の品質特性に配慮し、エンドユーザーの安心と信頼を配慮した製品を目指している。



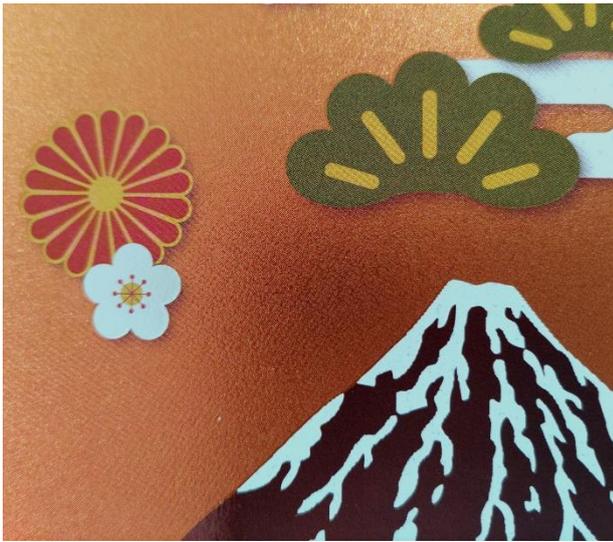
## 工業製品部門

四角箱から円型、内容物に配慮した変形箱まで、大きさ、形態、デザインなど、様々な顧客要望に対応。

## (2) 加工技術

### 表面加工

表面加工には「印刷面の保護」と「付加価値」といった役割がある。印刷のみでは、摩擦や水に弱い  
ため、ニス塗る、フィルムを貼る等の表面加工を施すことで、印刷面を保護し、箱の耐久性を強  
化できる。表面加工により、光沢を出したり、逆に光沢を抑えたりするニス、グロスニス、マットニ  
ス、プレスコート、疑似エンボス等々・・・多くの種類があり、それ以外にもビニール加工、PP 加  
工、エンボス加工、箔押し等の加工がある。箱をより美しく見せ、他との差別化にも効果的になる。



疑似エンボス



木目エンボス

### スキャメラ(高精細マルチアングルスキャナー)

高精細マルチアングルスキャナー(スキャメラ)の撮影技術は従来のカメラ撮影では不可能とされ  
た、細かい凸凹や陰影等、質感をリアルに表現することが可能であり、一眼レフを超える高精細な再  
現性を実現できる。カメラの場合、焦点は単一でピントは全体像で合う形となり、細部は霞むが、ス  
キャメラは近接して移動しながら撮影(スキャン)するため、隅々にまでピントが合う。非接触ス  
キャナーなので細かな凸凹のある物のスキャンが可能、ピンボケのないクリアな画像を表現できる。  
画像印刷が他社より鮮明で再現性が高く、綺麗な仕上がりになる。



カメラ撮影



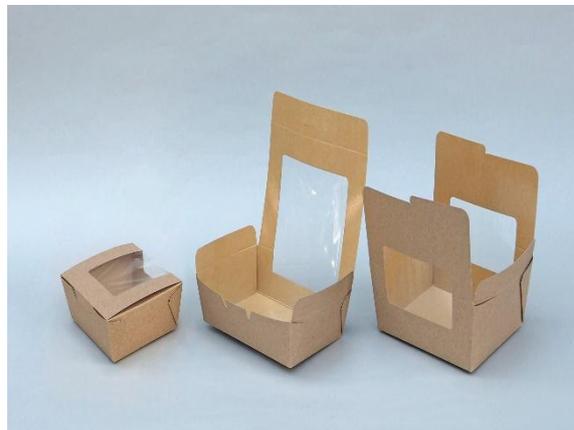
スキャメラ

## PET 窓貼・PP 全面貼

パッケージにフィルムで窓を付けることにより、中身を魅せるパッケージの作成が可能。薄いフィルムから硬いフィルムまで様々なフィルムを貼り合わせることで、紙だけでは出来ない商品の魅力をアピールすることができる。



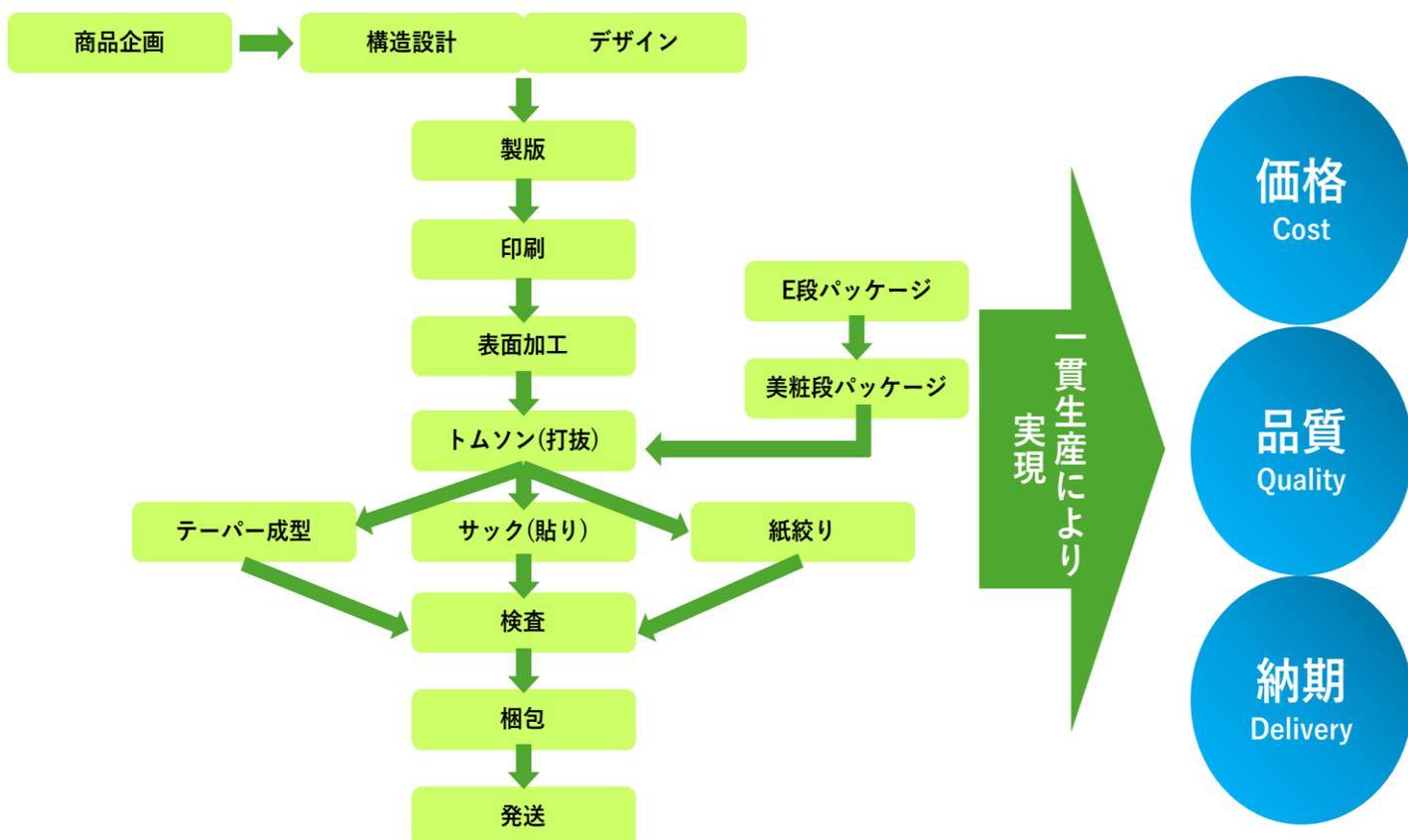
PET 窓貼



PP 全面貼

### (3) 完全一貫生産システム

当社は、商品企画から製品出荷までを一貫生産することにより、複数の会社をまたがずに商品を生産できるため、「価格」「品質」「納期」の3つの柱のもと、お客さまのご要望に対応できる体制を構築している。



#### (4) 生産設備

一貫生産システムを支える最新鋭の多種多様な生産設備を保有している。



印刷



表面加工



エンボス加工



トムソン(打ち抜き)



窓貼



フィルム加工

## (5) 品質への取り組み

### 品質方針

当社は、2016年10月に国際的な品質マネジメントシステム規格「ISO9001」認証を取得。皆様から信頼いただける企業として、顧客満足度の向上と品質マネジメントの継続的な改善を実現するためにISO9001に取り組んでいる。また、品質管理の一環として各部署で品質会議を行い、品質改善の打ち合わせを行っている。5S活動(整理・整頓・清掃・清潔・躰)を通じ、一人ひとりの意識の向上へと繋げている。



## 4. SDGs・ESG活動

### (1) 職場環境

当社は、社員一人ひとりが最大限に成長し、仕事とプライベートのバランスを保ちながら働ける職場環境の整備に力を入れている。新入社員研修をはじめ、透明で公平な人事評価制度、公的資格取得奨励制度、育児・介護支援など、社員のキャリア形成やライフステージに合わせた多様な支援制度を整えている。

#### ・人事評価制度

社員一人ひとりの努力と成果を公正に評価し、その成長を支援するために透明で公正な人事評価制度を導入している。社員の個々の強みや努力をしっかりと認め、適切なフィードバックを通じてさらなる成長とキャリアアップをサポートしている。

人事評価制度は社員が自身に要求される職能・レベルの基準を理解しやすくするため、具体的で明確な役割基準を設けている。評価は1年ごとに自主目標の設定を行い、業務成果だけでなく、チームワークや会社の価値観に基づいた行動、さらには成長の過程まで幅広く見ている。

#### ・新入社員研修

入社後に約1カ月間の社内外の研修を実施し、配属先を決定している。社内研修としては、就業規則等の説明・安全衛生教育・製造工程での実習等であり、最終日には役員面談を行っている。この他に社外研修として「新入者安全衛生教育・労働基準協会主催」や「富山企業団地新入社員研修」なども行っている。

#### ・若手社員向け研修

若手社員向けに「5ステップ・トレーニング<帝国データバンク主催>」に随時参加させている。内容は全6回（6カ月間）の集合研修で、営業力・コミュニケーション能力の向上を図る目的で行われている。

#### ・資格取得支援制度

自己啓発に対する奨励金制度があり、会社が推奨する展示会等の見学や会社が認めた資格の取得、通信教育の費用等を支援している。

資格名	保有人数
安全管理者	3名
衛生管理者	1名
安全運転管理者	2名
甲種防火管理者	2名
危険物保安監督者	1名
有機溶剤作業主任者	7名
有機溶剤業務従事者衛生教育	2名
はい作業主任者	1名
大型特殊自動車運転免許	1名
小型車両系建設機械特別教育	4名
危険物取扱者乙種	2名
危険物取扱者丙種	1名
動力プレス・シャー取扱特別教育	1名
一級印刷技能士	2名
二級印刷技能士	4名
普通救命講習I	16名
フォークリフト運転技能講習	28名

## ・健康経営の取り組み

当社は健康企業宣言富山推進協議会より社員の健康づくりを戦略的に取り組む企業を認定する「とやま健康企業宣言 銀」の認定を受け従業員の健康づくりに努めている。

### 【主な取り組み】

- ・従業員の健康診断 100%受診
- ・安全衛生委員会を月1回開催し、健康についての情報共有や課題、問題について考える場としている。
- ・時間外労働時間の削減
- ・ノー残業デーの推進
- ・ストレスチェックの実施



## ・社内コミュニケーションの充実

多様な人材が一体となって働く上で、社内コミュニケーションが円滑に進むことを目的にマラソン同好会、テニス同好会、ゴルフ同好会等の同好会を作り、部署や世代を問わずコミュニケーションを充実させている。同好会のイベントでは従業員家族を招き、家族同士の親睦を深め、エンゲージメント向上を図っている。



マラソン同好会



テニス同好会



ゴルフ同好会

## (2) SDGs 宣言

当社は2022年1月に当社独自のSDGs宣言を行い、当社Webサイトでも具体的な取り組みについて記載している。



## 当社の SDGs 達成に向けた取り組み

### ■ 商品・サービス

私たちは、紙の包装容器に特化し、世の中の変化に敏速に対応し、顧客に感動を与え、安全で安心な製品作りを行い、社会に貢献する。

- ・持続的な品質管理を目的とした ISO9001 の認証継続
- ・環境保護を目的とした FSC®CoC 認証商品の提供
- ・「プラから紙へ」の促進のため、紙で代用可能な新商品を開発
- ・高齢社会に対応できるユニバーサルデザイン商品の開発



### ■ 人権・働きがい

人権尊重やハラスメントの禁止徹底により社員が心身ともに健康で働きがいのある職場を作る。

- ・コンプライアンス規定整備、ハラスメント防止の相談窓口設置
- ・資格取得制度の整備、人材育成の強化
- ・とやま健康企業宣言の取得、従業員の健康促進
- ・女性活躍の推進による管理職の増加、働きやすい職場環境の整備



### ■ 環境

省エネ CO<sub>2</sub> 削減への取り組みを促進し、事業活動を通じて環境保全に取り組む。

- ・材料の水性化とバイオマス素材の使用による有害物質の削減
- ・エコロジー&リサイクル「紙製食品容器」の開発と提供
- ・照明の一部を LED 化、自家消費型太陽光発電導入検討
- ・省エネタイプの機械設備導入を図り、CO<sub>2</sub> 排出削減



### ■ 地域・社会貢献

地域密着型の企業として、地元人材を積極的に活用し、地域貢献活動を通じて、持続可能な地域社会の実現に貢献していく。

- ・インターンシップや会社見学の受入による地元人材の採用
- ・毎月の企業団地内の清掃活動の継続による社会貢献
- ・高齢者、障がい者の雇用等、積極的な人材活用
- ・自治体主催のイベントへの参加による地域貢献活動



## 5. インパクトの特定

### (1) インパクトレーダーによるマッピング

富山陽成社の事業内容の分析結果をもとに主要・関連業務を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングを実施。ポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。

当社の主要な業種については、国際産業標準分類に則り、「段ボール及び板紙並びに紙製・板紙製容器製造業（1702）」「印刷業(1811)」を適用した。また、川上の事業には「パルプ、紙及び板紙製造業（1701）」「印刷業(1811)」を適用し、川下の事業には「調理食品製造業（1075）」「他に分類されないその他の食料品製造業(1079)」「石けん、洗剤、クリーニング・つや出し剤、香水及び化粧品類製造業(2023)」「医薬品、薬品化学品及び植物性薬品製造業(2100)」を適用した。

分布図中の「◆◆」は重要な影響があるカテゴリー、「◆」は影響があるカテゴリーを示しており、当社の事業活動における「◆◆」「◆」の影響を検討する。

国際産業標準分類	川上の事業		川上/当社の事業		当社の事業		川下の事業							
	1701		1811		1702		1075		1079		2023		2100	
	パルプ、紙及び板紙製造業		印刷業		段ボール及び板紙並びに紙製・板紙製容器製造業		調理食品製造業		他に分類されないその他の食料品製造業		石けん、洗剤、クリーニング・つや出し剤、香水及び化粧品類製造業		医薬品、薬用化学品及び植物性薬品製造業	
インパクトカテゴリー	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
社会	水（入手）													
	食糧						◆		◆					
	住居													
	健康・衛生	◆		◆				◆◆		◆◆	◆		◆◆	
	教育	◆		◆										
	雇用	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	エネルギー													
	移動手段													
	情報													
	文化・伝統	◆		◆				◆		◆				
環境	人格と人の安全保障													
	正義・公正													
	強固な制度・平和・安定													
	水（質）		◆◆		◆		◆◆		◆		◆		◆	◆
	大気		◆		◆		◆					◆		◆
	土壌													
	生物多様性と生態系サービス													
経済	資源効率・安全性		◆		◆		◆		◆		◆		◆	◆
	気候		◆		◆		◆		◆		◆		◆	◆
	廃棄物		◆◆		◆		◆◆		◆◆		◆◆		◆	◆
	包括的で健全な経済	◆		◆		◆		◆		◆		◆		◆
経済収束														

インパクトマッピングにおいて、当社事業のポジティブとして影響があると考えられるインパクトカテゴリーは「健康・衛生」「教育」「雇用」「文化・伝統」「包括的で健全な経済」が挙げられた。ネガティブとして影響があると考えられるカテゴリーとして「雇用」「水（質）」「大気」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」が挙げられた。

また、川上事業においてはポジティブとして「健康・衛生」「教育」「雇用」「文化・伝統」「包括的で健全な経済」、ネガティブとして「雇用」「水（質）」「大気」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」が挙げられた。

さらに、川下事業においてはポジティブとして「食糧」「健康・衛生」「雇用」「文化・伝統」「包括的で健全な経済」、ネガティブとして「健康・衛生」「雇用」「水（質）」「大気」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」が挙げられた。

このうち、当社の事業活動と関連するカテゴリーを分析対象とする。

### 「経済面・社会面への取り組み」

- ・当社はほとんどの工程を外注に頼ることなく自社で製造しており、一貫生産体制が可能となっている。また、工場ラインが集約されており商品を製造する効率が高く、低コスト且つ短納期での製品出荷が可能となっている。
- ・企画、設計、デザインに強みを持っており、自社オリジナル商品の開発が多く、高付加価値商品の提供が可能となっている。高いデザイン性・品質を有する紙製パッケージ製品を供給することによって川下の各産業のサプライチェーンを下支えし、「**包括的で健全な経済**」のポジティブインパクトを拡大している。また、国際的な品質マネジメントシステム規格「ISO9001」認証を取得しており、食品や医薬品等の高い安全性が求められる商品についても幅広く対応する。今後は食品安全システム認証「FSSC22000」の取得に向けた取り組みを進め、「**健康・衛生**」のポジティブインパクト拡大に一層寄与することを目指す。

### 「環境面への取り組み」

- ・昨今、大きさ 5 mm 以下のマイクロプラスチックという微細なプラスチックごみが、半永久的に自然分解がされず、海に蓄積し続け、様々な問題を引き起こすことが社会問題となっている。当社は紙製容器の提供を通じて脱プラスチックを推進し、海洋プラスチックの削減に貢献していることから、マッピング上での該当はないが「**生物多様性と生態系サービス**」の面でポジティブインパクトに寄与している。
- ・環境保全の取り組みの一環として、国際組織である森林管理協議会が提唱する FSC®CoC 認証を取得。森林の持続可能性に配慮した製品の生産・販売活動に取り組んでいる。
- ・当社は今後 CO<sub>2</sub> 排出量の測定と削減に向けた取り組みを行っていく予定である。当社のビジネスモデルにおいては、製造量に関わらず製造ライン稼働時のエネルギーコストがかかるため、受注減少下におけるエネルギー効率化が課題となっている。製造ラインの稼働時間を厳密にコントロールし、エネルギー消費量を抑えることで CO<sub>2</sub> 排出量削減を進める。
  - ・商品を製造する工程で欠かせないのが印刷工程である。商品を魅力的に見せるカギは印刷が担っている。しかし、印刷の際に使用する従来型の油性塗料は、有機溶剤による人体への影響や、水質汚染などの問題を抱えている。当社では水性塗料の使用割合を高めており、健康面・環境面の双方に配慮した持続可能な製品作りを行っている。
- ・製造工程で発生する紙端材を再利用し、トイレットペーパーや段ボール等の原料として利用。また、製造時に使用する油や空き缶等も再利用し、廃棄物削減に努めている。
  - 「**水（質）**」「**大気**」「**資源効率・安全性**」「**気候**」「**廃棄物**」のネガティブインパクトの抑制に寄与している。

### 「雇用面への取り組み」

- ・業界の先駆者として、紙製の商品パッケージ・食品容器を 60 年以上の長きにわたり製造してきた。近年の急速な社会の変化の中で、環境問題への意識の高まりから当社の製造する紙製商品パッケージ・食品容器のニーズは年々高まっている。そのニーズに対応するには柔軟な発想を持って様々な業務改革を行っていくことが必要である。当社では柔軟な人材育成のため、社内のチームメンバーやパートナー企業と協力し、お互いを尊重し、支えあう雰囲気づくりを心掛けている。
- ・また、長年の事業活動の中で地域経済との結びつきも大きくなっており、グループ全体で 140 人を超える社員が勤務している。雇用創出、雇用機会提供の役割を果たすと共に社員一人ひとりの自己実現や働きがい確保の観点においても大きな役割を果たすことが求められる。
  - ・社員一人ひとりのスキルアップにより質の高い商品を提供するにとどまらず、社員の自己実現や働きがい確保に資する資格取得支援や福利厚生の実施など会社としてのバックアップを継続・強化していく方針である。

- ・企業全体で社員の健康づくりを戦略的に実行する健康経営に取り組むことを宣言し、健康優良企業として「銀の認定」を取得済み。
- ・有給休暇や男性育児休暇の取得率向上のため、社員と上司で話し合いの場を持ち、社員の不安を取り除く取り組みを行っている。男性育児休暇制度については、研修などで社員に周知を徹底していく。
- ・外国人技能実習生7人の受け入れを行っている。受け入れ実績は20年以上あり歴代の先輩が後輩の指導をするなど安定した就労環境を整えている。

以上の取り組みが、「雇用」のポジティブインパクト拡大およびネガティブインパクト抑制に寄与している。

## (2) インパクトカテゴリーに対応するSDGs



## (3) 日本におけるインパクトニーズの確認

持続可能な開発ソリューションネットワーク (SDSN) に掲載されている日本のダッシュボードによると、大きな課題が残る項目が「赤色」、重要な課題が残る項目が「橙色」、課題が残る項目が「黄色」、目標達成が「緑色」となる。

今回特定したインパクトと対応するSDGsのゴール6項目のうち、3項目が大きな課題が残る、1項目が重要な課題がの残る、1項目が課題の残る項目である。日本に課題が残る項目が6項目中5項目該当していることから、日本における当社のインパクトは重要度が高いと判断する。



出典：SDGsダッシュボード

#### (4) 富山県の政策・戦略の確認 ～とやま未来創生戦略の確認～

富山県は、約 4,248 km<sup>2</sup>の広さを有し、医薬品や機械、電子部品等を中心としたものづくり産業が盛んな日本海側有数の中核都市として発展してきた。水深 1,000mの「海の幸の宝庫」富山湾から 3,000 m級の北アルプス立山連峰まで、自然豊かで多様な地勢を誇り、広大な森林面積や全国有数の水力資源、地熱資源に恵まれ再生可能エネルギーのポテンシャル（潜在可能性）が高いことも特徴である。

人口減少、少子・超高齢社会が進行する中、このような地勢を背景として、富山県では本県の自然、文化産業など各地域の特色、強みを活かした持続可能で活力ある未来を創造するため、平成 27 年 10 月から「とやま未来創生戦略」を、令和 2 年度から「第 2 期とやま未来創生戦略」を策定した。

第 2 期とやま未来創生戦略は、基本目標 1. 結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備、基本目標 2. 産業振興、若者等の雇用創出、観光振興、県内への移住促進、基本目標 3. 若者・女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上、基本目標 4. 活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくりを掲げている。

基本目標 4 の活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくりにおける、③持続可能で安心して暮らせる地域の環境づくりでは、豊かで快適な環境づくりと安全・安心の確保を掲げており、当社が行う将来を見据えた製品の提供はまさに富山県が目指す地域の環境づくりに合致しており、富山県の目指す「持続可能で安心して暮らせる地域の環境づくり」に大きく貢献している。

また、当社の職場環境の面では技能実習生の積極的な採用や従業員のスキルアップ支援、先端技術・設備の積極導入を行っており、これらは富山県が基本目標 3 の中に掲げる外国人材の活躍や多様な人材の確保・育成、労働生産性の向上に寄与する取り組みと言える。

基本目標 1	基本目標 2	基本目標 3	基本目標 4
<b>結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備</b> <p>① 結婚から子育てまで計画のない支援による少子化対策の推進</p> <p>(ア) 結婚・妊娠・出産支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○結婚を希望する男女の出会いの場の提供</li> <li>○ライフプラン教育の充実</li> <li>○若者・女性を中心とした移住・Uターン促進</li> <li>○妊娠・出産・健やかな子どもの成長のための環境整備</li> </ul> <p>(イ) 家庭・地域における子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な保育・子育て支援サービスの充実</li> <li>○子育て支援人材の育成</li> <li>○子育て家庭の経済的負担の軽減</li> </ul> <p>(ウ) 職場における子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○仕事と子育ての両立支援に向けた職場環境の整備促進</li> </ul> <p>② 働き方改革を進め、水と光の生活の実現による少子化対策の推進</p> <p>(ア) 長時間労働の是正や柔軟な働き方の推進など働き方改革の推進</p> <p>(イ) 男性の家事・育児参加の促進</p>	<b>産業振興、若者等の雇用創出、観光振興、県内への移住促進</b> <p>① 産業・地域経済の活性化</p> <p>(ア) 富山県の強みを活かした成長産業の育成</p> <p>(イ) 中小・小規模企業の振興</p> <p>(ウ) 企業立地等の促進</p> <p>(エ) 農林水産業の振興</p> <p>(オ) 環境・エネルギー産業の育成</p> <p>② 若者や女性が働きやすい環境を整える魅力ある地域づくり</p> <p>(ア) 若者・女性の就業支援・県内定着の促進</p> <p>(イ) 高等教育機関の魅力向上</p> <p>(ウ) 地域の魅力創生</p> <p>③ 観光の振興</p> <p>(ア) 選ばれ続ける観光地づくり</p> <p>(イ) 富山のブランド力アップ</p> <p>④ 移住・定住の環境づくり、応援人口の創出・拡大等</p> <p>(ア) 移住・定住の環境づくり</p> <p>(イ) 応援人口の創出・拡大</p> <p>(ウ) 多様な形態を通じた地域企業への人材の展開・連携につながる取組み支援</p>	<b>若者・女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上</b> <p>① 若者や女性が輝いて働ける環境づくり</p> <p>(ア) 若者がチャレンジし活躍できる環境づくり</p> <p>(イ) 様々な分野で活躍できる女性人材育成</p> <p>(ウ) 女性の再就職支援</p> <p>② 高齢者等が能力を発揮して活躍できる社会の実現</p> <p>(ア) 元来な高齢者が活躍するための支援</p> <p>(イ) 誰もがいきいきと働き活躍できる場の創出</p> <p>③ 外国人材活躍の促進と多文化共生の地域づくり</p> <p>(ア) 外国人材活躍の促進</p> <p>(イ) 多文化共生の地域づくり</p> <p>④ 多様な人材の確保・育成と労働生産性の向上</p> <p>(ア) 多様な人材の確保</p> <p>(イ) ものづくり分野や観光分野などでの人材育成</p> <p>(ウ) 働き方改革を通じた労働生産性の向上</p> <p>(エ) 産業の高付加価値化の支援を通じた労働生産性の向上</p>	<b>活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくり</b> <p>① 交通ネットワーク整備と活力あるまちづくり</p> <p>(ア) 陸・海・空の交通基盤整備</p> <p>(イ) 快適で活力ある魅力的なまちづくり</p> <p>② 人生100年時代を見据えた人づくり</p> <p>(ア) 健康寿命の延伸</p> <p>(イ) 医療や福祉の充実</p> <p>(ウ) 教育力の向上</p> <p>(エ) 未来を担う人材育成</p> <p>(オ) リカレント教育の推進</p> <p>(カ) 生涯にわたる学びの推進</p> <p>(キ) 心の元気を醸成する文化の振興</p> <p>③ 持続可能で安心して暮らせる地域の環境づくり</p> <p>(ア) 豊かで快適な環境づくり</p> <p>(イ) 安全・安心の確保</p> <p>④ 豊かで魅力ある中山間地域の実現</p> <p>(ア) 地域コミュニティの活性化</p> <p>(イ) 地域経済の活性化</p> <p>(ウ) 住民生活に必要な不可欠なサービスの確保</p>

出典：富山県 第 2 期とやま未来創生戦略

## (5) インパクトの特定

- 「プラから紙へ」を促進し社会に貢献
- 環境負荷軽減に向けた取り組みの強化
- 全従業員が心身ともに健康で働きがいのある職場環境の構築

## (6) 特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認

富山陽成社の事業分析やインパクトマッピング、富山県の行政方針や方向性等を踏まえて、当社と特に関連性の高いインパクトを整理した。特定したインパクトと富山第一銀行のサステナビリティ方針の方向性が同じであることを確認する。

今回特定したインパクトは「「プラから紙へ」を促進し社会に貢献」「環境負荷軽減に向けた取り組みの強化」「全従業員が心身ともに健康で働きがいのある職場環境の構築」である。

富山第一銀行では、サステナビリティ方針のなかで、「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」「3.環境保全」「4.健全な企業経営」の4点を、サステナビリティを巡るマテリアリティ（重点課題）としている。

「「プラから紙へ」を促進し社会に貢献」では「1.地域経済の持続的な成長」「4.健全な企業経営」という観点で、「環境負荷軽減に向けた取り組みの強化」では「2.地域社会の持続的な発展」「3.環境保全」という観点で、「全従業員が心身ともに健康で働きがいのある職場環境の構築」では「4.健全な企業経営」の観点で方向性が一致する。

以上より、本ポジティブ・インパクト・ファイナンスに取り組むことで、環境問題や地域社会・経済を取り巻く課題に対して持続可能な社会の実現に貢献しうる資金の提供が可能となり、本ファイナンスを通じてSDGs達成に向けた取り組みの支援を目指す。

## 6. KPI の設定

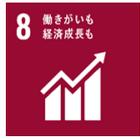
- 「プラから紙へ」を促進し社会に貢献

項目	内容
インパクトの種類	経済面のポジティブインパクトの拡大 環境面のポジティブインパクトの拡大
インパクトカテゴリー	「包括的で健全な経済」「生物多様性と生態系サービス」
関連 SDGs	  
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙製食品容器の供給拡大による脱プラスチックの促進</li> <li>・森林の持続可能性に配慮した製品づくりの推進</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2030年2月期まで毎期、紙製食品容器の製造を担う食品一般パッケージ部門の売上を前期比3%ずつ増加(2025年2月期：1,435百万円)</li> <li>・2028年2月期までにFSSC22000(食品安全システム)認証を取得</li> <li>・FSC®CoC認証(*)の維持</li> </ul> ※FM(森林管理)認証された森林から算出された林産物の適切な加工・流通に対する認証

● 環境負荷軽減に向けた取り組みの強化

項目	内容
インパクトの種類	環境面のネガティブインパクトの抑制
インパクトカテゴリー	「水(質)」 「気候」
関連 SDGs	 
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネの取り組み推進による CO<sub>2</sub> の排出量削減</li> <li>・印刷工程における水性塗料（※）の活用による環境負荷軽減 ※水質汚染リスクのある有機溶剤を含まない環境配慮型塗料</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2026年2月期までに CO<sub>2</sub> 排出量を把握（見える化）し、以降は毎期4.2%ずつ削減</li> <li>・2028年2月期までに全工場の照明を LED へ変更(2025年2月期:LED化率30%)</li> <li>・2030年2月期までに水性塗料使用率100%達成(2025年2月期:約80%)</li> </ul>

● 全従業員が心身ともに健康で働きがいのある職場環境の構築

項目	内容
インパクトの種類	社会面のネガティブインパクトの抑制
インパクトカテゴリー	「雇用」
関連 SDGs	
対応方針	ワークライフバランスのとれた職場づくり
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2030年2月期までに有給休暇取得率100%達成(2025年2月期:80%)</li> <li>・男性育児休暇取得率100%を継続</li> </ul>

## 7. 管理体制とモニタリング

### (1) インパクトの管理体制

当社は、代表取締役の島津様を中心にサステナビリティに関する方針・施策の決定や、重要課題（マテリアリティ）の検討、推進、進捗状況のレビューなどを行っている。

本件におけるインパクトについては、若尾様が中心となり、管理・KPI 達成に向けた施策を実施する。

最高責任者	代表取締役 島津弘明
管理責任者	管理部(総務)部長 若尾靖
管理部署	管理部(総務)

### (2) モニタリング方法

本ポジティブ・インパクト・ファイナンスで設定した KPI の達成及び進捗状況については、富山第一銀行と当社とで定期的に面談の場を設け共有する。本面談は少なくとも年 1 回実施するほか、日頃の情報交換や営業活動の場等を通じて実施する。

富山第一銀行からは、KPI 達成に必要な資金及びその他ノウハウの提供あるいは富山第一銀行の持つネットワークから外部資源とマッチングすることで、KPI 達成をサポートする。

モニタリング期間中に達成した KPI に関しては、達成後もその水準を維持していることを確認する。なお、経営環境の変化などにより、KPI を変更する必要がある場合は、富山第一銀行と当社が協議の上、再設定を検討する。

注意事項・免責事項

1. 本評価書は、富山第一銀行が株式会社富山陽成社から提供された情報や独自に収集した情報に基づく現時点での計画または状況に対する評価で、将来におけるポジティブな成果を保証するものではありません。
2. 富山第一銀行は、本評価書を利用したことにより発生するいかなる費用または損害について、一切責任を負いません。

● 本件に関するお問い合わせ先

株式会社富山第一銀行

法人事業部 コンサルティングチーム

〒930-8630

富山市西町5番1号（TOYAMA キラリ 7F）

TEL (076) 461-3871